

レクリエーションのご案内

絵画教室

日時：12月7日(木) 13:30~15:30

今回は、群馬県庁で行われる平成29年度(第18回)群馬県障害者作品展の見学に行きます。

12月6日から11日まで群馬県庁1階の県民ホールで開催しています。是非、皆さん、お時間があったらお出かけ下さい。

やまなみ忘年会

日時：12月29日(金) 12:30~14:00(予定)

今年も残り1ヵ月となりました。今年も年末恒例となりましたやまなみ忘年会を開催します。

まだ、詳細は未定ですが利用者さんが中心となった忘年会実行員会で只今、準備中です。後日、ご案内が出ますので楽しみに！

法人からのご案内

新年度(平成29年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)



法人の最新情報は下記のホームページでご覧になれます！

発行 特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営施設 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
多機能型事業所(生活訓練・就労継続支援B型)ワークハウスみやま
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2017年
12月号

新しい就労継続支援B型事業所(榛東村)、4月開所に向け準備スタート！

当法人では、4月1日、榛東村に新しい就労継続支援B型事業所の開所を目指しています。

場所は、榛東ふるさと公園です。約2年前から榛東ふるさと公園の敷地内にある旧JA農畜産物直売所の建物を新しい就労継続支援B型事業所を開設するためにお借りできないかご相談を重ねてきました。そして、いよいよ、この度、正式に契約を交わし、開設準備を本格的に始めることが出来ることになりました。

この新たな事業所には、これまで吉岡町で「みやま工房」の授産事業のひとつとして実施してきた製菓製パン事業「麦のゆめ」の厨房を移設します。そして、榛東村の果樹や野菜などの特産品を活用した6次産業化や地元企業や観光資源などとタイアップした商品開発などにも挑戦する予定です。

今回、榛東村からお借りする建物は、榛東村のランドマークとも言える「榛東ふるさと公園」の中にあります。公園にはローラーコースターなどの遊具、ミニSLが走るミニ鉄道、イベント開催に

最適な野外ステージ、売店や食事もできる休憩所、親水公園などがあり、観光シーズンには多くの家族連れで賑わいます。

また、公園の周辺は榛東ぶどう郷、榛東耳飾り館、しんとうワイナリーなど様々な榛東村の観光スポットがあります。

新しい事業所「麦のゆめ」は、この観光資源が豊富な立地を生かし、年間通じて多くの人が訪れる公園へと活性化を図り、利用者さんと共に榛東村の発展にも貢献したいと思います。



お借りする旧JA農畜産物直売所



公園を象徴するローラーコースター付歩道橋



鉄道マニアも喜ぶミニ鉄道



イベントも開催できる野外ステージ



榛東ぶどう郷



榛東耳飾り館



しんとうワイナリー

第8回地域交流事業「やまなみまつり」を開催しました！

11月11日(土)、第8回となる地域交流事業「やまなみまつり」が開催されました。

週間予報では雨予報で心配していましたが、当日は少し風が強いものの秋晴れの日となり、絶好のイベント日和となりました。

今年も地域の役員の方々、近隣の方々、医療・福祉の関係者、行政の方、そして、当事者の方々とそのご家族など300人を越える来場者をお迎えし、盛大に開催することが出来ました。

イベントを盛り上げる「ふれあいステージ」は、地元の下八幡獅子舞保存会の子供達を中心とした獅子舞の演舞やハーモニカの愛好会の方々による演奏など、地域で文化活動をされている方々との交流の場としても定着してきました。

中庭で開催する模擬店「ふれあいマルシェ」では、当法人の授産事業の「キッチンハウスみやま」、「アグリハウスみやま」、「麦のゆめ」が出店した他、県内の障がい者福祉事業所から「工房あおぞら」(沼田市)、「あいぼーとあすなろ」(渋川市)、「のぞみ」(邑楽町)の3事業所さん、そして、民間では「天然石あすみ」さんが出店して頂きました。どのお店もお客さんで賑わい買物を楽しんでいました。

屋内会場では、フリーマーケットも開催され、掘り出し物を求めて多くのお客さんがご来店頂きました。抱えきれないほど、買物をされている方やお目当てのものが見つかって嬉しそうな笑顔の方がたくさんいました。射的やヨーヨーすくいなど、子供達が遊べる「キッズ・コーナー」も多くの子供達や親子連れで賑わっていました。

そして、今回は、みんなの人気者「ぐんまちゃん」も登場し、会場を大いに沸かしてくれました。

最後は、「やまなみまつり」の恒例イベント、多くの来場者が楽しみにしていた「大抽選会」が開催されました。今年も多くのお客様等に御協力を頂き伊香保温泉のペア宿泊券、一万円の商品券、家電品など150点を超える賞品が揃い、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

今年で8回目を迎えた地域交流事業「やまなみまつり」は、毎年300名を超える方々に御来場頂けるイベントに成長し、医療福祉の関係者はもとより、地域の方々にも認知してもらえるようになりました。

また来年も、皆様に楽しんで頂けるよう中身を検討し、地域の方との交流を図って行きたいと思っております。



地域役員の方々も御挨拶頂きました



下八幡獅子舞保存会の子供達



ハーモニカよしおかの会の皆様



大勢の方で賑わうふれあいマルシェ



ぐんまちゃんもやってきた



積み上げられた賞品の数々

ピアサポーター交流会 in やまなみまつり！

やまなみまつりは、地域の人達に「障がいを持った方々を身近に感じて欲しい」と開かれたイベントです。これまでも障がいを持つ当事者のメンバーが自身の心の病気の語る体験発表会を開き、大勢の方々に感動を与えたりしてきました。そして、今回はやまなみまつりの会場の一部を群馬県から「精神障害者地域移行支援事業」の受託をしている群馬県精神障害者社会復帰協議会のピアイベントとして使って頂き、ピアサポーター交流会を開催しました。当日は当事者、ピアサポーター、関係者、地域の方など80名近い方々が集い、交流を深めました。

公開ピアミーティング「ホープ・オブ・ハート」を開催しました！

NPO法人山脈 ピアスタッフ：峰岸千絵

去る11月11日、やまなみまつりにおいて私たちピアサポートグループホープオブハートは、ピアサポーター交流会を開催しました。また、群馬県精神障害者社会復帰協議会の活動の一環として会を設けていただきました。どなたでも参加可能で、ピアサポーターや地域の人など80名近くの方にご参加いただきました。

交流会は、やまなみのホープオブハートの語らいの場を再現し、より多くの人と意見交換したいというメンバーの希望があったので、ホープオブハートの形をそのまま行いました。

当日どのような人が集まるのかによって、語るテーマも変わってくると思い、事前にいくつかのテーマを絞って、定例会で予行練習など重ねてきました。

そして本番では、ピアサポーターの方や入院患者さんなどが各方面から参加して下さり、「将来の不安・悩み」というテーマで話し合う事になりました。

「将来金銭的な不安がある」「地域で孤立してしまう不安がある」「生活の苦労がある」など、沢山の意見が出ました。

その一つ一つに、私たち当事者の生きづらさ、生活のしづらさが垣間見えました。でも、その悩みを決してマイナスにとらえるのではなく、弱さこそが私たちの人生をより味のあるものにしてくれる醍醐味ととらえ、沢山の意見がどれも素敵だと感じて終わることが出来ました。

後日、参加された病院の入院患者さんにおいては、会に参加してみて「地域ってなに？」と支援者の方にこぼしていたと聞きました。まさに「あの場こそが地域だよ！」と思い、この交流会を開いたかいたが良かった、強く感じました。その他方面から、「自分と同じような事で悩んでいる人がいるのだと思い、安心した」という感想や、「自分も退院したい」という言葉も聞くことができました。ピアサポーターの皆さんも、自分なりに発見などがあった様子でした。

交流会を終えてみて、「自分自身のことをしゃべる」ということが病気を乗り越えていくうえですごく大事なことで、それを誰かと共有することで自分を受け入れる、すなわちリカバリー(回復)につながっていくのだということを改めて感じました。

同じ地域で共に生きる。このおまつりこそ「地域」の姿であって、それを見て感じ取ってくれた人がいたということだけで、嬉しく感じました。

ご参加、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。とても、意味のある場になったと感じています。今後もこのような場を設けることができると良いと思っております。

毎週、火曜日13時30分よりホープオブハートを行っています。是非、参加したい方はお越しください。

